

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		健康づくり推進事業				担当課	保健センター	担当係	健康推進係	管理番号	3354		
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち			事業区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務						
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり			根拠法令 個別計画等	健康増進法・食育基本法・深谷市健康づくり推進条例・深谷市健康づくり計画						
	小項目	1	健康づくりの推進										
	主要プロジェクト	2	シニアが輝くふかやプロジェクト										
事業概要		本事業は、深谷市健康づくり計画に基づき、市民を対象に広く健康教育・講演会、食育推進事業、福祉健康まつり等を開催し、市民の健康に対する意識の高揚を促し、市民自らが健康づくり活動を行うことを支援する。また、市民、関係機関、行政が協働して市全体で健康づくり事業に取り組むことにより、市民が健康で心豊かな生活を送れるよう、健康なまちづくりを目指すものである。											
目的 ※何のために		知識の普及・啓発、健康づくりの実践に対する支援活動を行い、市民自らの健康づくり活動を促す。											
対象 ※誰・何を対象に		市民											
手段 ※どのように		健康長寿埼玉モデル事業、市健康マイレージ事業、健康づくり応援店登録事業、運動実践・健康講座、食育推進事業等により、健康づくりに関する啓発活動や実践に対する支援事業を実施。											
成果 ※何を求めるか		健康に対する意識を醸成し、自ら健康づくり活動に取り組む市民が増える。											
執行体制		■職員 ■一部委託 □全部委託 □指定管理 ■市民ボランティア □NPO等 □その他()											
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	6	衛生諸費	健康づくり推進事業		5,089,746		
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	6	衛生諸費	健康マイレージ事業		3,612,014		
本事業の 主な業務		・ 深谷市健康づくり計画の推進							・ 福祉健康まつりの実施				
		・ 健康及び運動実践講座等の開催							・ 食育推進事業の実施				
		・ 健康づくり等に関する啓発活動							・ 自殺予防対策				
		・ 市健康マイレージ事業の実施							・ 熱中症予防対策				
		・ 健康づくり応援店登録事業の実施							・				
		・ 健康長寿埼玉モデル事業の実施							・				

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・健康長寿埼玉モデル事業の継続・深谷市健康づくり計画の評価・第二次計画策定	・健康長寿埼玉モデル事業の継続・市健康づくり推進条例の推進・市自殺対策計画策定	・毎日プラス1000歩運動(県コバトン事業活用)継続・健康づくり応援店、健康レシピ等の普及	・健康ガイドブック編集、発行・大人の食育支援アプリ検討、導入	・健康づくり支援アプリ継続	・健康づくり応援事業に事業統合、名称変更し一体的に健康づくり事業を推進
事業費	予算(現額)	16,766,000	13,993,000	9,718,000	12,991,000	12,493,000	12,491,000
	決算額	14,999,882	11,766,187	8,228,252	10,249,677	8,701,760	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	2,261,000	1,273,000	489,000	616,000	665,000
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	27,000	2,378,000	22,500	1,500	45,000
		一般財源	12,711,882	8,115,187	7,662,752	8,084,260	11,781,000
人件費	従事職員数(人)	3.50	3.70	2.80	3.40	1.82	1.65
	人件費相当試算※	27,226,500	28,793,400	22,694,000	27,662,400	14,126,686	13,416,724
総事業費試算		42,226,382	40,559,587	30,922,252	37,912,077	22,828,446	25,907,724

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	健康づくり・食育推進事業開催数	目標値	回	0	0	0	0	0	0	
		実績値	116	141	147	145	144	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年度ごとに事業を見直すため目標設定なし/実施回数（実績）						
	実績値の算出式									
成果指標 1	健康づくり・食育推進事業総参加者数	目標値	人	4500	0	0	0	0	0	
		実績値	5115	6831	4410	3307	7176	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年度ごとに事業を見直すため目標設定なし / 年間参加者数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	健康づくり・食育活動団体加入者数	目標値	人	334	280	285	290	295	300	
		実績値	278	277	272	219	200	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			過去の実績値から目標値を設定 / 保健センター事業関連団体加入者						
	実績値の算出式									
成果指標 3	ためるんピックふかやに参加して健康に関する意識が高まった人	目標値	%	0	89	89.5	90	90.5	91	
		実績値	88.5	91.9	90.4	97.5	92.3	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			健康づくりに関心をもつようになった及び取り組むようになったと回答した人の割合 / 達成者アンケート						
	実績値の算出式									
成果指標 4	健康的な食生活に気をつけている市民の割合	目標値	%	89	86	86.2	86.4	86.6	86.8	
		実績値	84.3	81	80	82.8	83.8	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所			深谷市まちづくりアンケートより把握 / 市まちづくりアンケート						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意しながらの事業開催。来場型の講座は人数制限を設けて行うとともに、プラス1000歩運動、健康づくり支援アプリ事業、市健康マイレージ事業など、個人で参加でき、かつライフスタイルに沿って健康づくりに取組める事業等に重点をおいて実施したことから、評価をAとした。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	コロナ禍のため健康づくり・食育団体の活動が中止・縮小した状況であったが、健康への関心は高く、個人で取組める健康づくり事業のニーズは高かった。ためるんピックふかや参加者数は前年度に比して減少したが、事業に参加して健康づくりに関する意識が高まった人は90%を超えている。成果指標のうち目標値を達成した項目もあるが、「健康的な食生活に気をつけている市民の割合」は目標値を下回った状況等を鑑み、評価をBとした。
			評価者 健康推進係長 鳥羽久美子

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	本事務事業を構成する予算事業は「健康づくり推進事業」と「健康マイレージ事業」であるが、どちらも市民対象の健康づくり事業であり、内容で差別化を図っている。今後、健康づくり事業の一体的推進を図るために事業統合を行う必要があると考える。また効率的な事業執行と市民の利便性を図るため、申込方法に電子申請を導入、民間委託での受付・運営等を行った。今後も部分的に改善・検討する余地があることから評価をBとした。
			評価者 健康推進係長 鳥羽久美子

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	・官民協働の健康づくり支援及び食育の推進
達成状況及び その効果	健康づくり応援店登録数35店・ためるんピックふかや協力店98店、民間事業者と協働した健康づくり支援アプリ事業の実施・事業分析（参加者86人）、健康づくり連携協定企業等との協働事業、周知・啓発などを実施。官民協働の事業を継続することにより、事業を知る市民が増え、事業を契機に健康づくりに関心をもつ市民の増加に繋がっている。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	健康づくり推進事業	担当課	保健センター	担当係	健康推進係	管理番号	3354
<div><div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>第2次総合計画の個別施策に繋がる事業であり、重点プロジェクトとなっている。目指す姿（最終成果）を目標に、官民協働で市民の健康づくりを支援する仕組みづくりを進めていく必要がある。併せて、市民に本事業の周知を図るとともに、民間事業者への委託等により市民が参加しやすい運営方法等を検討・拡充していくが必要であると考えます。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	保健センター 所長 穂山光昌				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	・官民協働の健康づくり支援と食育推進の継続 ・個人のライフスタイルに沿った健康づくり支援の継続
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	・市民の健康づくりに関する意識を高めるために、官民協働の健康づくり支援及び食育推進を継続・強化するとともに、広く市民等への周知を図る機会を設ける。 ※民間事業者等と共催の定例的な事業周知の機会と場の確保 例）レンガコリドーや保健センターを利用したミニイベント等による周知の実施。 ・健康づくり支援アプリ事業とウォーキング事業等の一体的な推進など、効果的な事業の企画・運用方法等を検討していく。

8. 評価指標グラフ

